

## 石川純治先生への献辞

石川 純治先生は、2018年8月に古希を迎えられ、2019年3月末をもって駒澤大学を定年退職されます。

石川先生は、大阪市立大学商学部から大阪大学大学院経済学研究科に進学され、同博士課程を単位取得退学後、1981年4月に福岡大学商学部にて専任講師として着任されました。また大阪市立大学を卒業後、公認会計士試験に合格され、会計士監査業務に携われました。

1985年10月に大阪市立大学商学部にて助教授として赴任され、1990年には同教授となりました。2003年4月に駒澤大学教授として着任され、同時に大阪市立大学名誉教授となりました。さらに2007年～2016年には放送大学客員教授も務められました。

石川先生は2000年～2002年に公認会計士第二次試験委員、2005年～2007年に税理士試験委員として国家試験委員を務められました。国家試験委員を務められたことは、先生ご自身のみならず、駒澤大学経済学部にとっても、栄誉なことでした。

石川先生は、会計学のなかでも、会計情報、キャッシュフロー会計、時価会計等に焦点を据えた研究を御専門とされました。会計情報の分野では、『経営情報と簿記システムー簿記の伝統と革新ー』（森山書店、1999年）を書かれ、今日まで四訂版を重ね、中国語訳も出版されています。キャッシュフロー会計の分野では、『キャッシュ・フロー簿記会計論ー構造と形態ー』（森山書店、1996年）を書かれ、やはり三訂版を重ねておられます。時価会計の分野では、『時価会計の基本問題ー金融・証券経済の会計ー』（中央経済社、2000年）を書かれています。単著の著書は10冊を超え、大変な御業績と言えます。

先生は退職されても、変わることなく、研究に励まれることでしょう。健康に留意されて、今後ますます研究を発展させ、その成果を世に問い、私ども後進を導いていただけるよう祈念いたします。

経済学部長 代 田 純